

総合地域医療連携センターNews

ご挨拶

総合地域医療連携センター

はしだ ゆり
副センター長 橋田 由吏

日頃より香川大学医学部附属病院の医療連携に多くのご支援を賜り心より感謝申し上げます。令和7年4月より総合地域医療連携センターに配属となりました橋田 由吏と申します。これまで手術部や集中治療部で看護師長を務めてまいりました。急性期看護の経験を活かし、社会復帰を目指す患者さんの生活に寄り添うことを大切にしてきました。総合地域

医療連携センター配属後も、医療を必要とする方々の生活に寄り添い、安心・安全な医療提供に貢献できるよう活動していきたいと思っております。至らない点も多くあると思っております。日々勉強しながら皆様のご協力を得て、総合地域医療連携センターの役割を果たし、地域医療の発展に貢献してまいります。今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

植込み型補助人工心臓（VAD）研修会を開催します！

VAD患者とその家族が住み慣れた地域で安心して生活・療養するためには、地域のサポート体制の構築が必要であると考え、昨年度より訪問看護師の皆様を対象にVADの知識や技術を学べる研修会を企画・実施しています。

今年度は、昨年度の内容に当院でのリハビリや患者・ケアギバーへの心理的な対応の実践などを追加しアップグレードした内容となっております。たくさんの方のご参加をお待ちしております！

日時	講師・テーマ
第1回 令和7年6月20日	講師：循環器内科医師 井上朋子 先生 「心不全（在宅強心剤）・VADについて」 理学療法士 手塚章夫 先生 「VAD患者のリハビリについて」
第2回（予定） 令和7年10月	講師：臨床工学技士、VAD患者 VAD機器、VAD患者の生活・就業について（予定）
第3回（予定） 令和8年2月27日	講師：VADチーム看護師、臨床心理士、医療ソーシャルワーカー VAD患者の看護、VAD患者・ケアギバーへの心理的な対応の 実際、社会資源（予定）

香川大学医学部附属病院
総合地域医療連携センター

〒761-0793

香川県木田郡三木町大字池戸1750-1

TEL 087-891-2407

FAX 087-891-2373



クラウド問診を始めました！

メディカルサポートでは、入院が決定し医師から依頼のあった患者さんに対し、入院前支援を行っています。適切な医療提供や円滑な入退院支援に繋げるため、問診や各種スクリーニングを通じて患者情報の収集・アセスメントを実施し、入院に関する説明を行っています。また、必要に応じて関係部門と情報を共有し、多職種で連携した支援体制を整えています。業務のDX化に向けた取り組みとして、2024年3月より問診を紙ベースからタブレット問診に変更しており、2025年3月からは、クラウド問診を導入しました。インターネットに接続可能な患者さんのスマートフォン又はタブレット端末から自宅や外来診療の待ち時間を用いて問診票への入力が可能です。現在、一部の診療科で実施していますが今後診療科を拡大する予定です。クラウド問診で得られた時間を患者さんへの説明や不安の把握、対応の充実に繋げていきます。



令和6年度 第2回退院支援連携の会～frogの会～を開催しました

令和7年2月7日（金曜日）、当院皮膚科の山村医師より「在宅におけるスキンケアのポイント～最新の知見を交えて～」、皮膚・排泄ケア認定看護師の納田看護師より「在宅で実践できる保清と保湿と保護について考えてみよう！」をテーマに講義を行い、地域の多職種の皆さまと在宅における皮膚ケアの知識を共有しました。参加された方からは、「在宅患者さんをケアする際の目線になった説明をして頂き大変参考になりました。」「実践的ですぐに現場でも活用できる内容で非常に良かった。」等といった感想が寄せられ、ご好評をいただきました。今後も、地域の皆さまのニーズに沿った内容で、実践的な研修の企画・開催に努めてまいります。

